

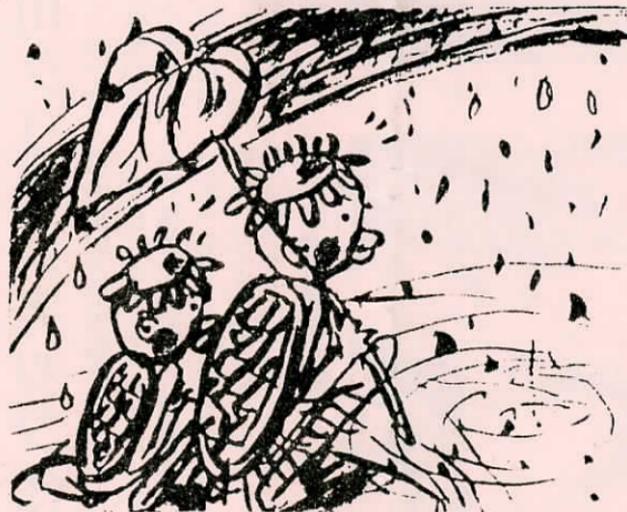
かはな通信

1996年6月1日

Vol. 7

発行 北川かっぱの会 東村山市野口町3-11-8
三島方 Tel 0423-91-2365

河童もヨロコブ
梅雨入り号



Tomomi M. 絵

清流への道はまだ途上。でもいつの日か光り輝く北川で子どもらと戯れん！

「地球的に考え、地域的に活動する」をモットーに、北川かっぱの会を旗上げてから早くも1年。八国山の南麓を流れる北川には、カワセミやコサギ、カモが戻り、クチボソやザリガニを追いかける水ガキも増えてきました。この5月には2回目の北川クリン・アップ作戦が昨年同様150名近いボランティアの人々の参加で行なわれ、車3台分のゴミを回収。川もスッキリ大喜び、大成功でした。清流への道はまだ途上ですが、愛情を少しずつ加えながら、いつの日にかキラキラ光る川で子どもらと一緒に遊びたいものです。かっぱ通信も7号目、会員数はまもなく80名。正直驚いておりませんが、今後とも無理をせず楽しい活動を続けていくつもりです。

第2回北川クリーンアップ作戦も大成功！

5月26日、東村山市の主催で第2回北川クリーンアップ作戦が実施されました。好評だった昨年秋季に引き続き、第2弾も大成功に終わりました。

日向橋から前川合流点までを3グループに分かれて市民約150

名の参加で川掃除。

目立ったゴミとしては、カン類や不燃ゴミが多く、自転車やバイクまでありました。ただ、前回に比べ、ゴミの量はやや少ないようでした。

子供達の参加も多く、ゴミと一

緒に大物のザリガニやドジョウを捕まえる姿も見えました。

終わった後は、かっぱの会主催の定番「河原の豚汁パーティー」。盛り上がりました。

次回は秋に第3弾が予定されています。是非参加下さい。



●北川よ、清流になってくれよ



●このゴミはぼくの獲物だぞ！

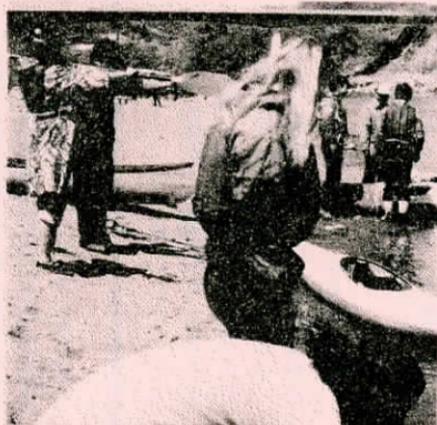


●川そうじの後は豚汁にかぎるね

かっぱ探検隊荒川カヌー初漕ぎ

4月19日。前日天気は大荒れ、気温十度と最悪。しかし、かっぱの神通力当日は、曇りのち晴れと絶好のカヌー&キャンプ日より。

かっぱ衆30名、水ガキになって埼玉県玉淀河原でカヌーを楽しみました。さんさんはしゃいだあとは、お待ちかねの焚火を囲んでの食事(呑み会)が始まる。



メニューは、ステーキ、キムチ鍋、特製魚のひもの等々いつもながら豪華。はじめて合った人達とも自然に会話がはずむ。火を囲んでも、酒を呑む。ただそれだけでとても心が温かく、ゆっくりとしたときが流れていった。自然の中にとけこむと「人」は、やさしくなれるのだと思う。

トピックス

・水とみどりの市民懇談会を開催
かっぱの会では、市民と行政のパートナーシップによる清流復活をめざし、市との定期懇談会の設置を望んでいました。

北川の清掃など市との協力関係が進むなかで、都市建設部緑政課の呼びかけにより、念願の懇談会が開催されました。

初会合は6月4日午後7時から東村山市民センターで開かれ、緑政課長と係長が主席し、市民側はかっぱの会など自然保護の活動をしている4団体が参加しました。

はじめに市から、情報交換や交流を通じ、よい街づくりを進めるため、水とみどりの市民懇談会(仮称)を定期的に開催したいとの提案がありました。その後は参加団体の活動報告や意見交換をし、さらに今後の会の進め方を確認し終了しました。

次回は、7月4日です。

夏休みかっぱの川遊び探検隊

忙しい現代っ子諸君。7月20日から夏休みだ。かっぱと一緒に川で思いっきり遊ぼう。

行先は高麗川の上流。魚研究家の君塚芳輝先生が、魚の採り方や観察の仕方を君に伝授してくれる。

●日時／7月20日(土) ●集合／①東村山駅東口朝8時30分②西武池

袋線東吾野駅朝10時 ●費用／50

0円(飲物付、保険料込、交通費別)

●持ち物／水着、ジャージ上下、古靴・古靴下・水中メガネ・シュノー

ケル(あれば)・お弁当 ●定員／30

名(多数の場合台抽選) ●交通／電車

(西武池袋線) ●問合せ・申込み先

／三島TEL 0423・91・2365



第5回 かっぱサロン

「市民と行政とのパートナーシップとは」

ゲスト・市環境部長

行政主導型の市政から市民参加型の市政への転換が全国各地で叫ばれるようになってきました。

環境、福祉、教育、街づくりと日々の生活の中で、地域の人々が

接するテーマは多岐にわたってあります。疑問、不満もたくさんありました。しかし、これまでその疑問やら不満、希望をぶつける、もしくは提言をする場があまりにも少なすぎたと言えるのではないのでしょうか。

市民社会の成熟とともに、市民の要望は時代とともに多様に変化し、行政・議会はそれに充分に対応することができなくなってきたことも、市民参加の声が広まった

一要因かと思えます。

しかし、市民参加型の行政といっても、まだ不定型要素が多く、揺らんなりの印象はまぬがれません。

私たち「かっぱの会」では、これからの清流復活、新しい川づくりに向けて、行政とどう協力・連携をとっていくか、パートナーシップを考えてみたいと思います。

●日時／6月22日(土) 13時～15時

●場所／東村山市民センター2F
●問合せ先／三島TEL 91・2365

わんぱく夏祭り実行委員会発足

夏休みの8月4日(日)、北山公園で、大人も子どもも遊ぼうという「わんぱく夏まつり(仮称)を企画いたしました。

東村山市が後援となり、市民主体の手づくりの夏まつりです。昼間は北川でカヌー遊びをしたり、公園でドジョウつかみ、ザリガニ

捕り、夜には昔なつかしい野外映画会などなど。ヤキソバ、カキ氷屋の出店も予定。ぜひ一緒にやってみたいという個人、団体の参加を広く募ります。

●問合せ・申込み先/市役所緑政課内・わんぱく夏まつり実行委員会TEL 93・5111

建設省主催の「新河岸川フォーラム96」開かれる。かつばの会も報告団体に参加

さる5月19日、北区にある中央工学校で、建設省、新河岸川流域総合治水対策協議会の主催による「新河岸川フォーラム96」が開かれ、多くの市民が参加しました。

東村山の市民にとっては新河岸川というのはなじみのない名前ですが、わが北川も前川も空堀川も柳瀬川を経由して新河岸川に合流するのです。またその新河岸川はさらに荒川に合流し、最終的には東京湾に流れこむのです。

今回のフォーラム96の目的は、これからの新河岸川流域における川づくりについて、市民、専門家の河川行政担当者との総合的な討論を行ない、意見の交流を図るとい

うもので、北川かつばの会も「生物の生息環境の確保」というセミナーにゲストとして呼ばれ、北川の現状を報告してきました。

硬直化していた建設省の河川行政が環境重視型に変化してきたことは以前触れましたが、積極的に市民との対話を求め、その中で一緒に新しい川づくりを進めようという姿勢は、国をはじめ都、市のレベルでもいよいよ必要とされる時代が来たことを痛感しました。



かっぱの春休み① 春のウララの四万十川

「春のGW四万十川は恒例とな
りつつある。全国の障害者カヌーの
仲間が集まるからだ。今年も残念な
がら都合で集まらず、いつもはテ
ントで埋めつくされる口屋内の河原
も静かであった。今回のツアーリ
ダーは、昨年の障害者カヌー全国大
会スラローム部門で7位の実績を
残す井上がつとめた。彼はロール

(沈しても起きる)技術をもち、現
在福祉作業所の設立を目指す。パ
ワフルな好青年である。川の下見に行
くなど頼りになる存在。東京から四
万十川までは遠いけどやっぱり四
万十川という感がある。川下りは初
めてというメンバ―も含め真青な
空と川を眺めながら今年もゆった
りとさせてくれた。



春休み② 南会津沼沢湖カヌー旅

四万十に行きたしとおもえども、
金なくヒマもない、かっぱの会中年
夫婦と若年夫婦二組、計4名は一路
南会津沼沢湖に向かった。みちのく
はまだ春浅く雪たっぷり残り、タラ
の芽が出てきたばかり。映画の撮影
に来ていた野田知佑大将やら、テツ
椎名誠隊長らと、やあやあと馴れ馴
れしく旧交を温め、3泊4日の旅を
たのしんできた。絶品は山菜の天ぷ

おすすめのお店 タイ家庭料理「サワディー」

久米川駅南口ほぼ正面にあるこの
店、東京で一・二を争う味だと評判。
辛いものばかりではないので子供連
れでも楽しめる。ライス・スープ・
サラダにデザート付で650円から
楽しめるランチタイムはトムヤムク
ンも200円でOK。定休日(月)、Tel
0423・95・7802。P有。



野田サニとガクと宮本バロン

ラに、八海山。おすすめのキャン
プ場である。

多自然型川づくりは

川を救えるか？ ②

多自然型川づくりは、建設省の定義によれば、「河川が本来有する豊かな自然環境と美しい風景を保全・再生・創出しつつ治水対策を進める川づくりである。」とされている。

つまり、多自然型川づくりは、従来のコンクリート護岸一辺倒の河

川改修の方式を見直し、川に住む生き物の生息環境や自然の風景を守ったり、復元したり、さらには新たにつくりだす、という画期的な方策であると云えます。

山口県の一ノ坂川では、改修にあたり、自然石の護岸や草のある川原、早瀬を人工的につくりだし、毎年ホタルが乱舞しています。

横浜市のいたち川では、河原や早

パロノ日本川の河口講座・第4回

瀬、淵、わんど等の多様な流れをつくり、生き物が回復してきています。大和市の引地川では、コンクリート3面張り護岸をはがし、蛇カゴ※とヤナギを用いて昔ながらの土手と蛇行した川を復元しました。

(※鉄線の円筒形カゴの中に石を詰めたもの)

いずれも北川と似たような規模の川の話です。

多自然型川づくりは、平成2年に

建設省が呼びかけて以来、全国で様々な試みが実施されており、その数は、平成5年度までに延べ三千箇所をこえています。

しかしながら、多自然型川づくりはまだ始まったばかりで、各地で試行錯誤が繰り返されている状況です。先の事例のように、比較的うまくいった事例が報告される一方、効果が見えない事例も多くあるようです。

(つづく)

今月の一冊

『パーマカルチャー』

(ビル・モリソン著) 農文協刊

パーマカルチャーとは地域の中で人間を含めた生態系が調和を保ちつつ持続的に生活できるための空間へ(居住・食物等生産・自然環境・地域社会等)を、有機的にデザインする理論です。自然と人が共生できる技法を教わる一冊です。

今月の一曲

●エニグマII「ザ・クロス・オブ・チ
エンジズ」 CHARISMA RECORDS

どこまでもイマジネーションの広がる音というものがある。シンセを駆使した、かつて体験したことのないエスニック・サウンドだ。アフリカの大地を渡る熱い風、民族の悲しみと祈り、そして安らぎの大海へと。体の奥底に眠る遠い記憶に触れる、心の旅をどうぞ。

(セイゴ)

かっぱの会会員募集中

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全と、その前を流れるかつての水ガキの生息地北川の清流復活という2つの大きな夢をもってつくられた「北川かっぱの会」も会員数が早くも80名を数えるにいたりました。

自然が大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集いたします。

ノンビリ、楽しくがモットーの会です。どうぞご一報下さい。

会費：年間3,000円。

かわいらしい会員証とかっぱ通信(隔月刊)をお送りします。

かっぱ例会：毎月第2土曜日。

問い合わせ・申し込み先：

〒189 東村山市野口町3-11-8

三島方 TEL 0423-91-2365

会費振込先：

郵便振替 00120-6-104476

(加入者名北川かっぱの会)

編集後記

かっぱの会も早や1年。またしよぶの季節がやってきました。最近、週末の北山公園に行くのと散策する家族連れが多いことに気づきます。やはり豊かな水と緑の自然に救われているのだと思います。かっぱ通信も定期読者が増え、配付先でいつも楽しみにしていますと声がかかるようになりました。いちばん嬉しいんですネ、コレガ。

Information

●トトロの森の自然観察会

①シジミチョウの仲間に会おう

日時／6月16日(日)9:00～

②夏のトンボを探そう

日時／7月21日(日)10:00～

場所／狭山丘陵周辺

参加費／大人300円、子供100円

主催／トトロのふるさと基金

連絡先／TEL 0429-47-6047

●東大農場見学会と講演会

講演／東大農場の教育研究と実習

見学／実験稲田、見本園、演習林

日時／6月25日(火)1:30～4:00

講師／山岸順子東大農学部助教授

主催／北多摩自然環境連絡会

連絡先／TEL 0424-64-0657 宮崎

●多摩川の源流を訪ねる

日程／7月20・21日(一泊二日)

参加費／16,000円

主催／多摩川を愛する会

連絡先／TEL 044-533-2867 矢島

6月のかっぱ例会

日時／6月16日(日)14時～16時

場所／廻田公民館

テーマ／わんぱく夏まつり、かっぱサロン、かっぱ探検隊ほか。

※会員、非会員どなたでも参加は自由です。散歩がてらのぞいてみて下さい。

連絡先／三島 TEL 0423-91-2365